



令和7年度幸福度に関するアンケート調査 (Well-Being指標)集計結果





地域幸福度(Well-Being指標)とは

市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化・可視化し、データに基づいた政策立案や検証を行う

- 客観指標⇒3つの因子群(①~③)の観点で、市の状況を数値化

例①人口あたり障がい者施設数、人口あたり学校数、住宅地の平均価格、自治体DX指数
②人口あたり外国人人口、自治体の管理職の女性職員の割合、多様性政策指数
③転入超過割合、生涯学習講座数、正規雇用者比率、イノベーション政策指数 等

- 主観指標⇒幸福度・生活満足度と3つの因子群に関する設問を市民へ調査(全51問)

幸福度・生活満足度

- ①現在の幸福度
- ②5年後の幸福度
- ③地域の暮らしの満足度
- ④現在の町内の人々の幸福度
- ⑤周りの人々が楽しい気持ちかどうか



3つの因子群

①生活環境

医療・福祉、買い物・飲食、住宅環境、移動・交通、遊び・娯楽、子育て、初等中等教育、地域行政、デジタル生活、公共空間、都市・自然景観、自然の恵み、環境共生、自然災害、事故・犯罪

②地域の人間関係

地域とのつながり、多様性と寛容性

③自分らしい生き方

自己効力感、健康状態、文化・芸術、教育機会の豊かさ、雇用・所得、事業創造

令和7年度幸福度に関するアンケート調査 概要



調査対象

市内在住の18歳以上の中から **2,000** 人を抽出

調査期間

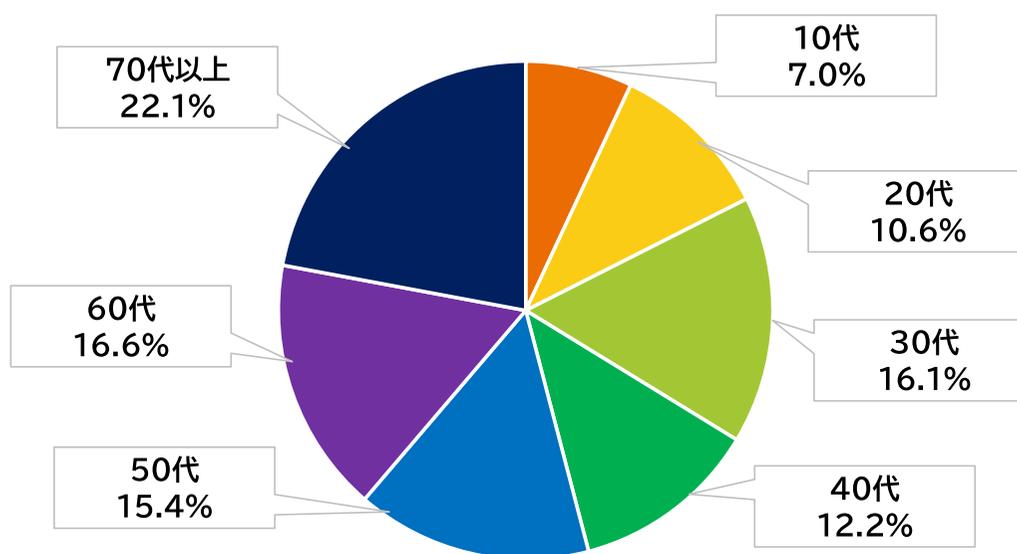
令和7年10月15日～10月31日

回収状況

30.8% (615枚: 郵送73枚、オンライン542枚)

※75歳以上の対象者のみ郵送での回答が可能

年代

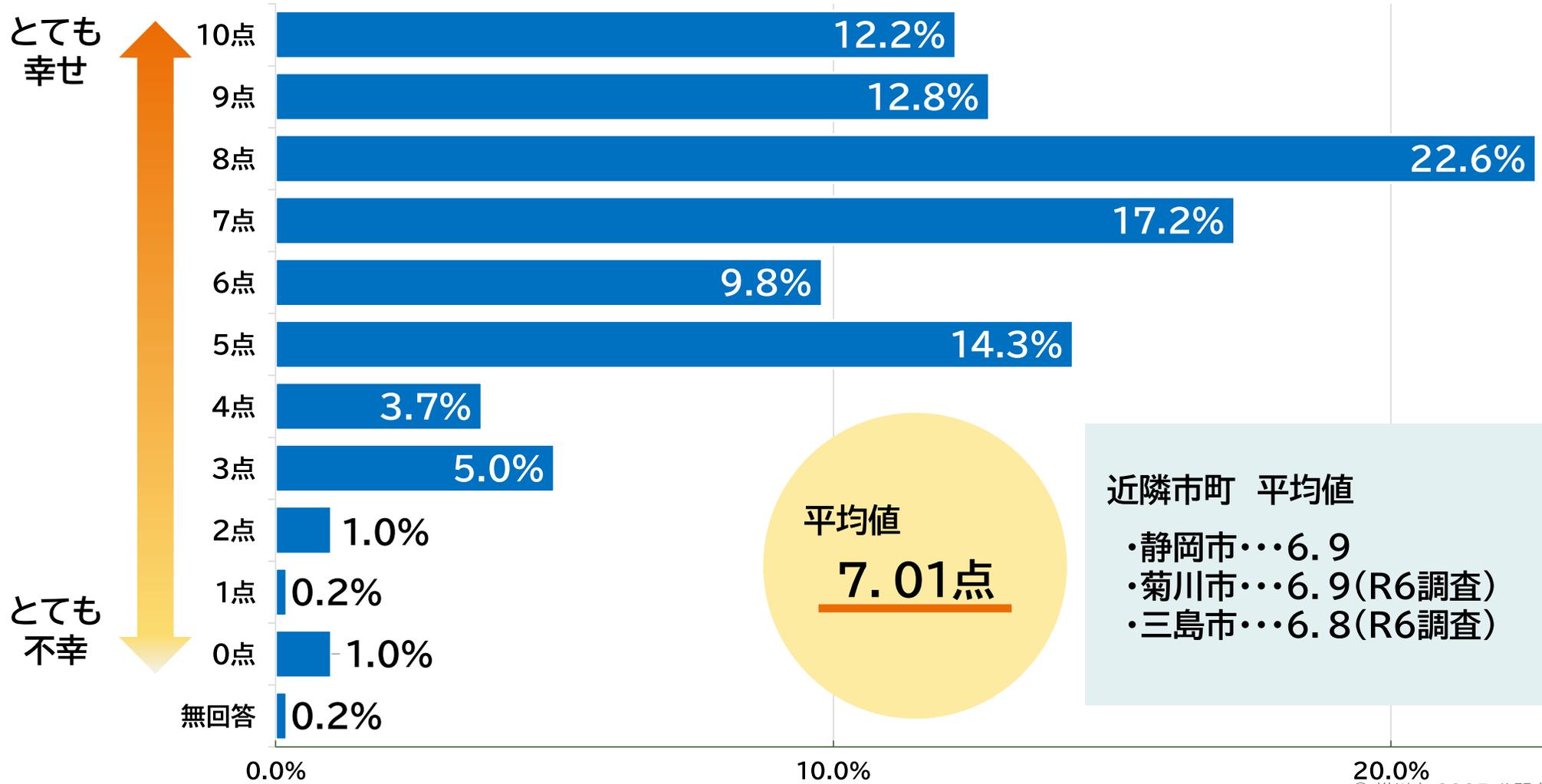


＼ 調査結果のポイント ／



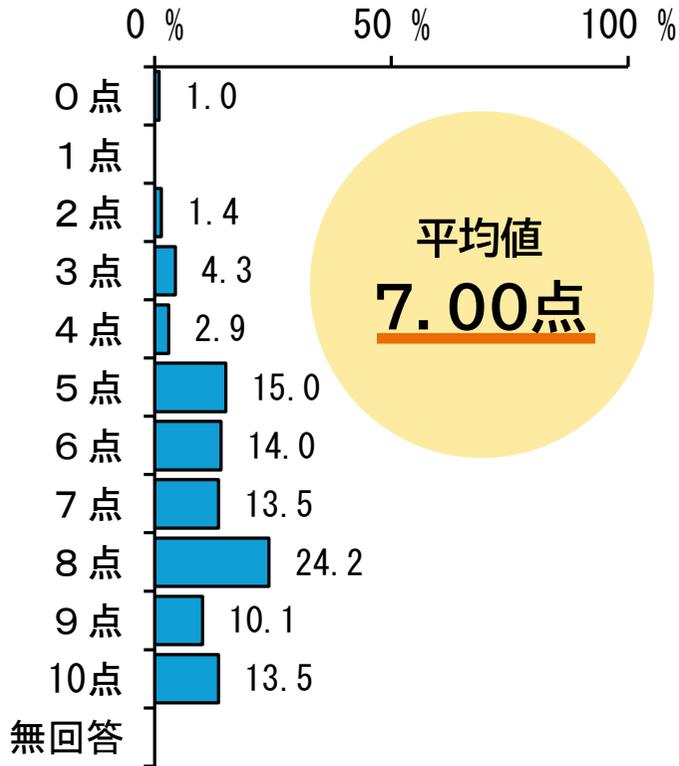
- 現在の幸福度・5年後の幸福度
- 現在の地域での生活満足度
- 掛川市の特徴
- 今後の活用について

現在の幸福度

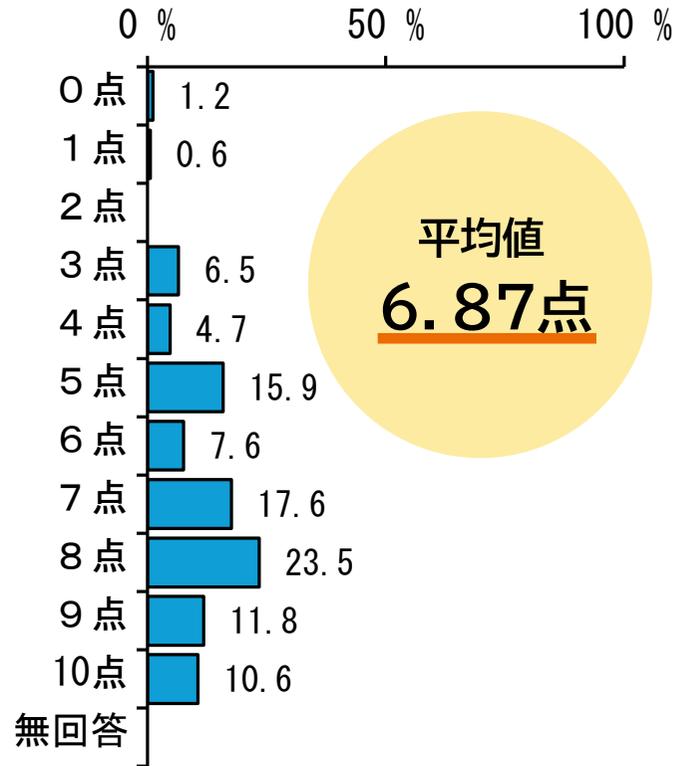


現在の幸福度 = 年齢別 =

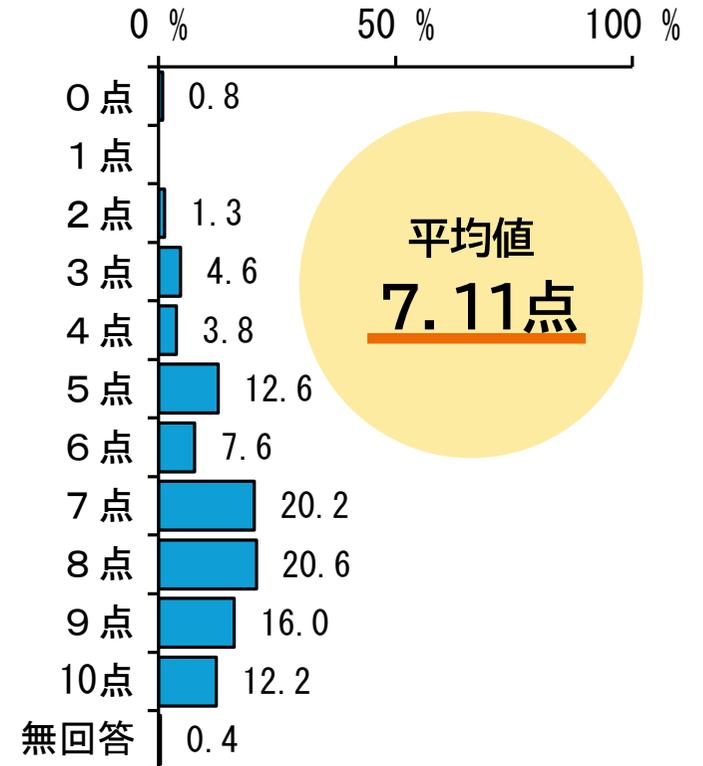
若年層 10代~30代
(n=207)



中年層 40代~50代
(n=170)



高年層 60代以上
(n=238)

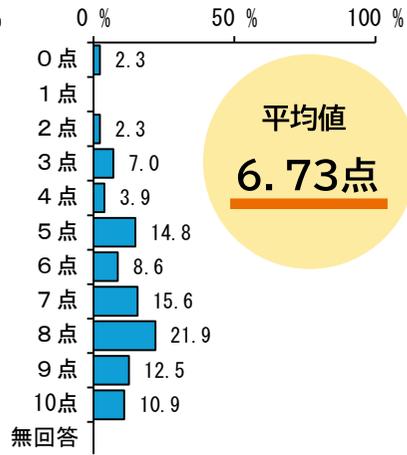


現在の幸福度 = 地域別 =

東中学校区(n=121)



西中学校区(n=128)



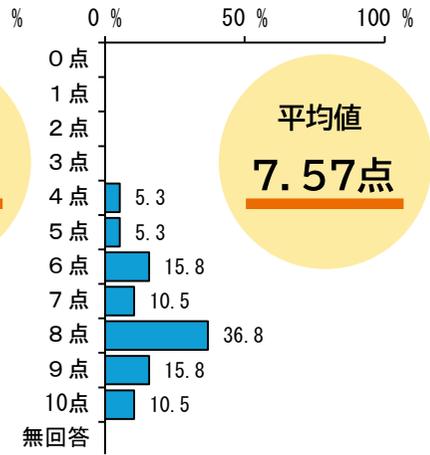
柴川中学校区(n=22)



北中学校区(n=97)



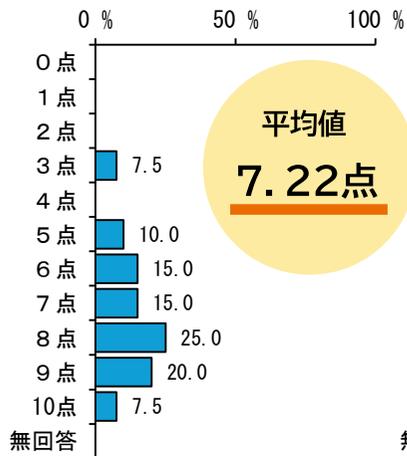
原野谷中学校区(n=19)



桜が丘中学校区(n=74)



大浜中学校区(n=40)



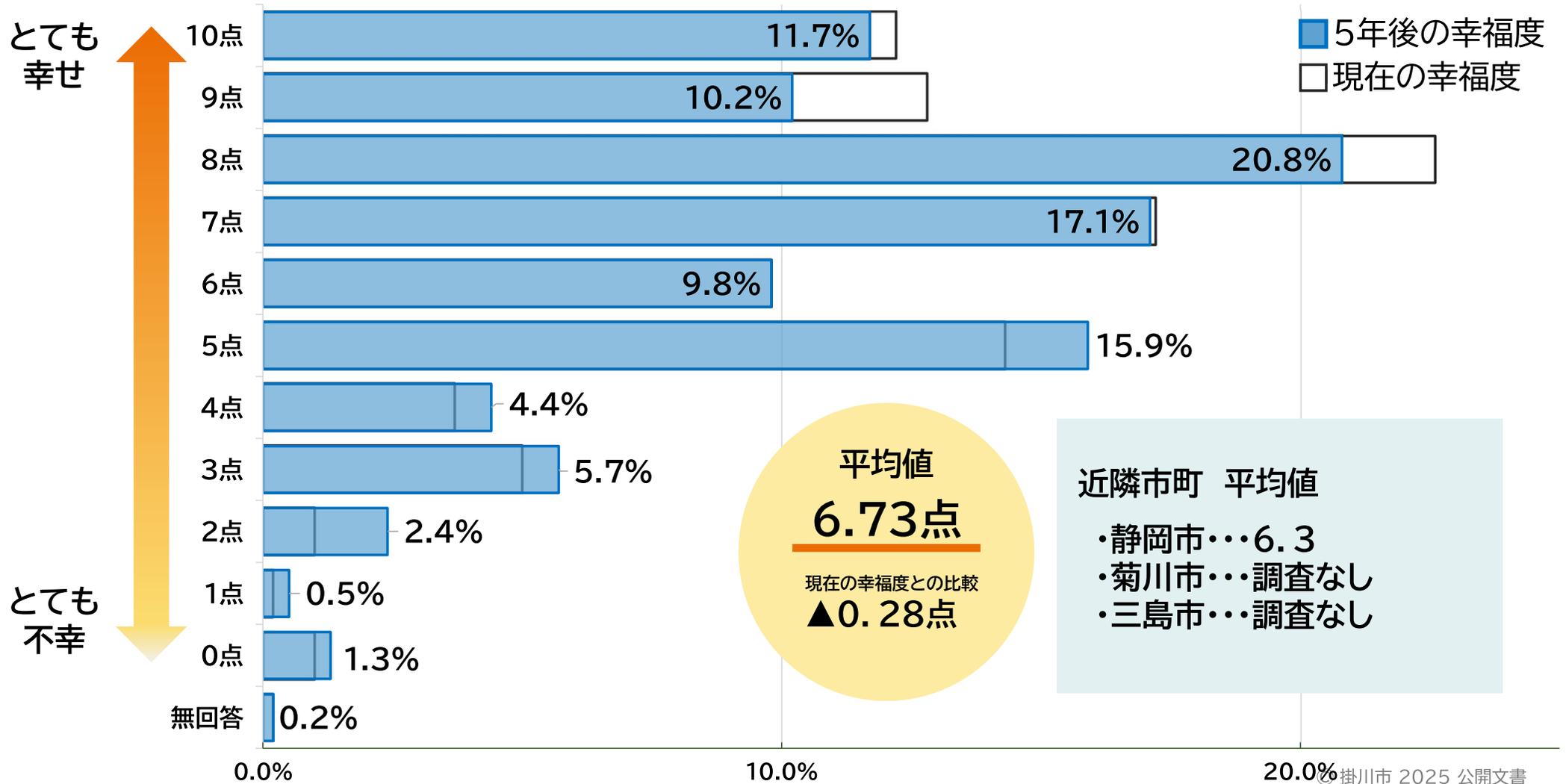
城東中学校区(n=42)



大須賀中学校区(n=62)

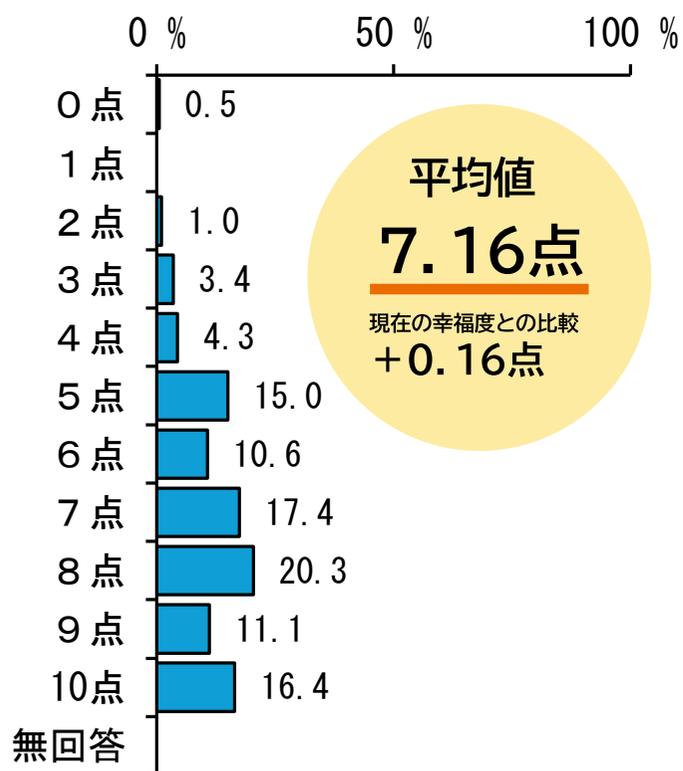


5年後の幸福度

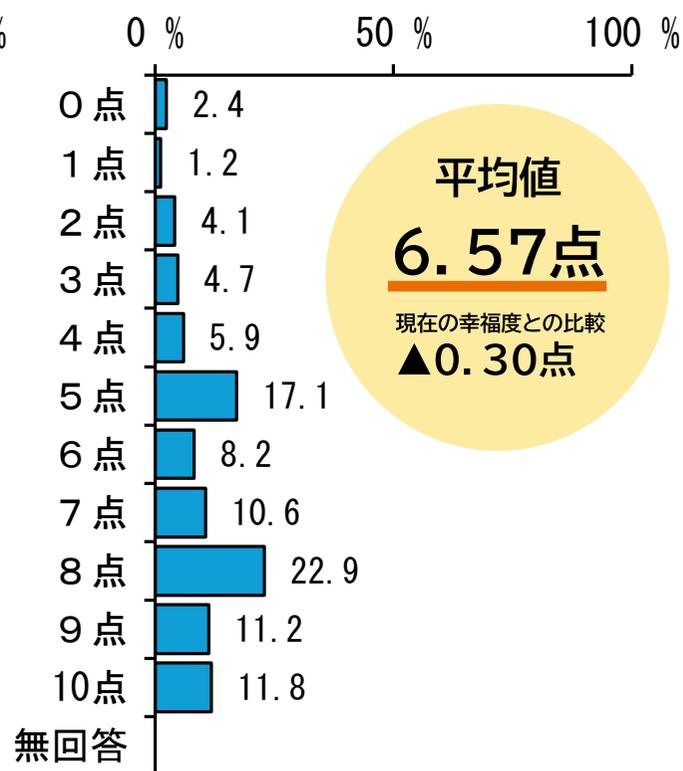


5年後の幸福度 = 年齢別 =

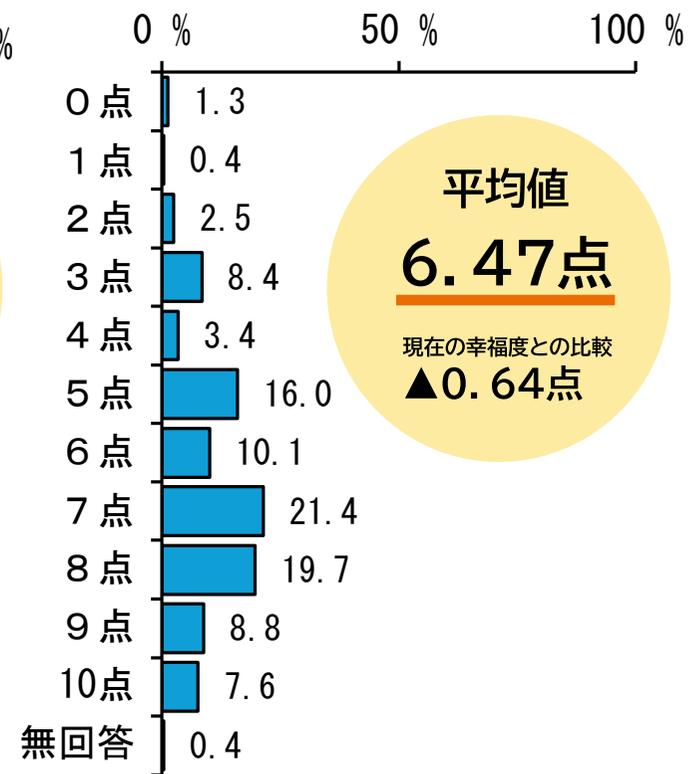
若年層 10代~30代
(n=207)



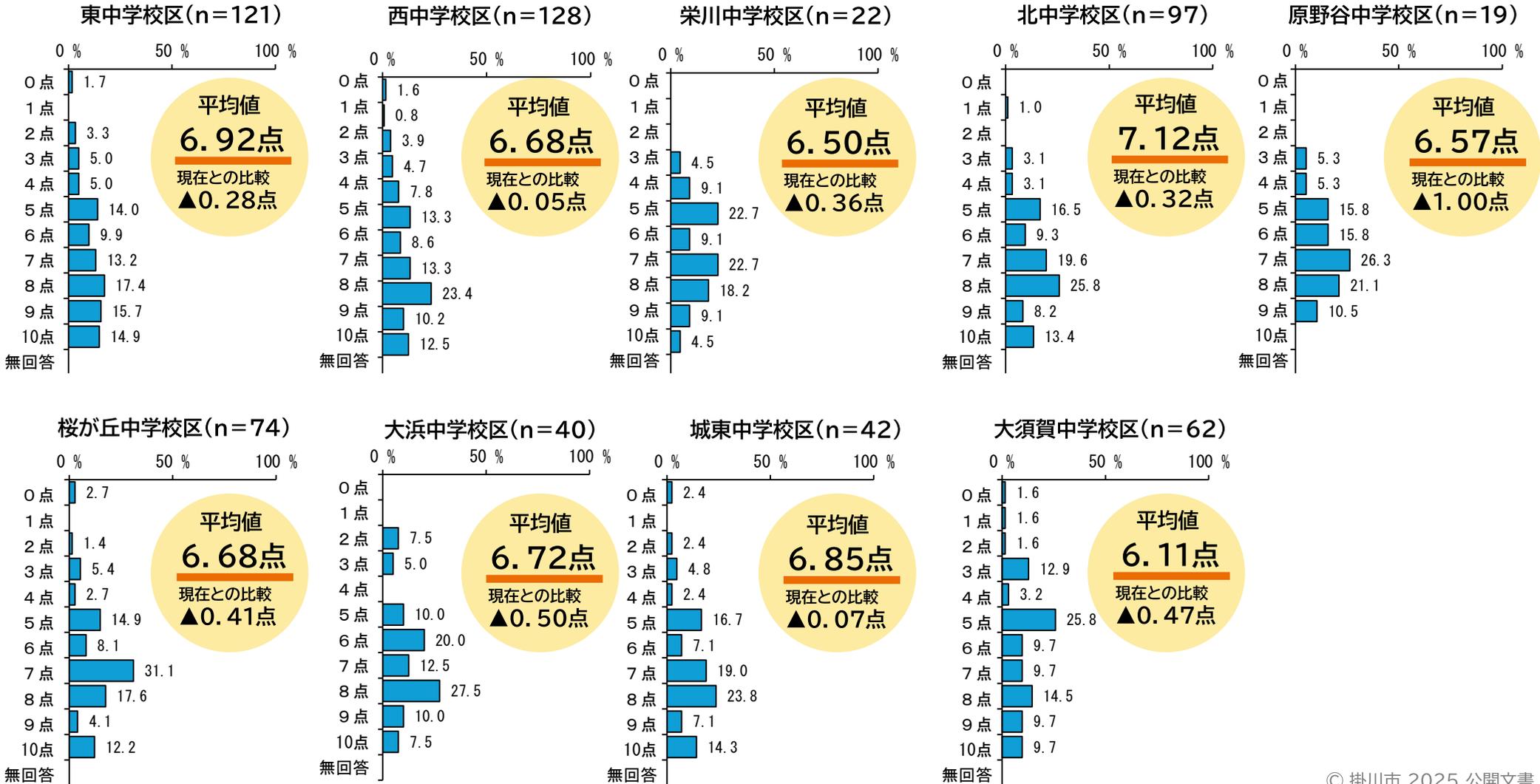
中年層 40代~50代
(n=170)



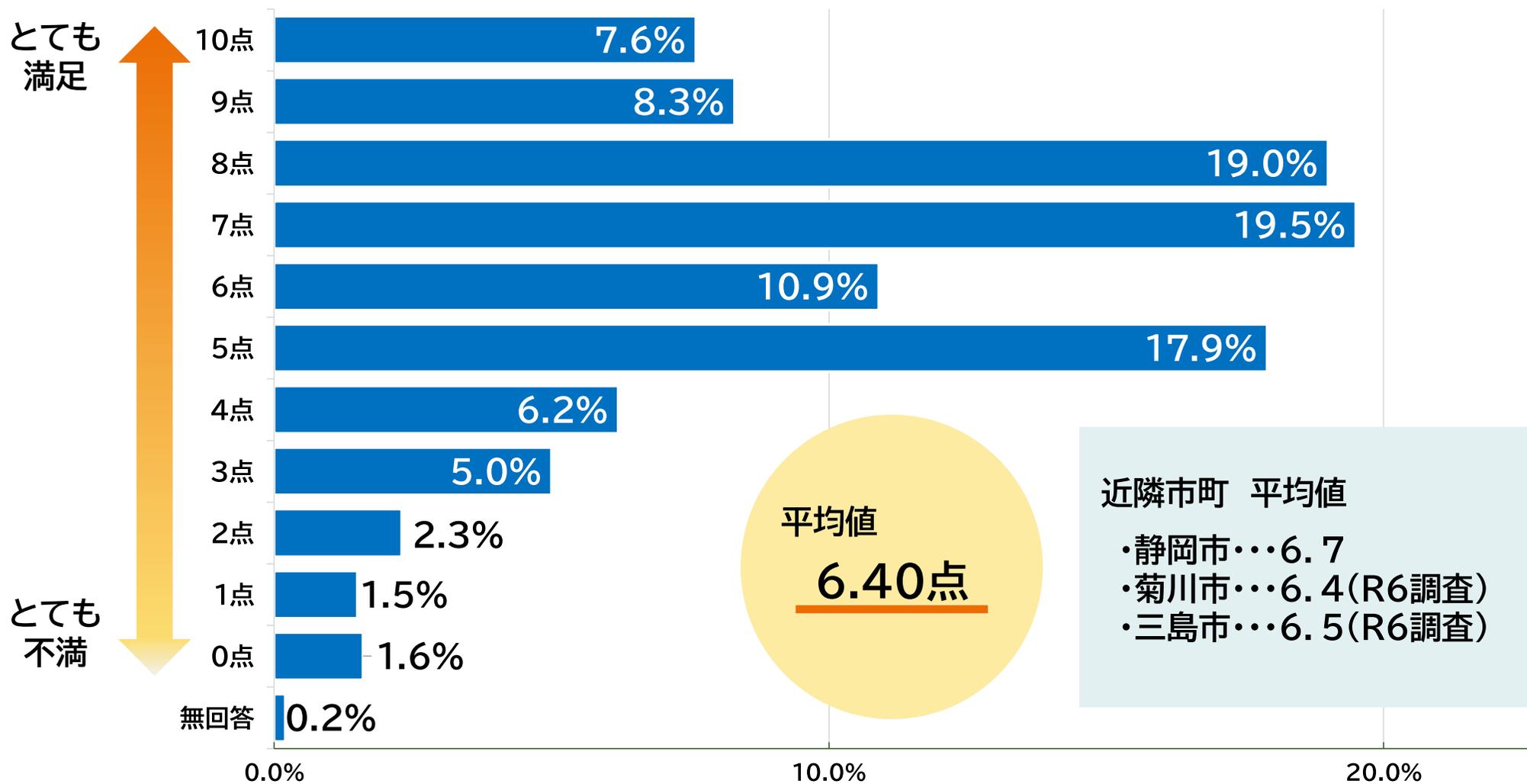
高年層 60代以上
(n=238)



5年後の幸福度 = 地域別 =

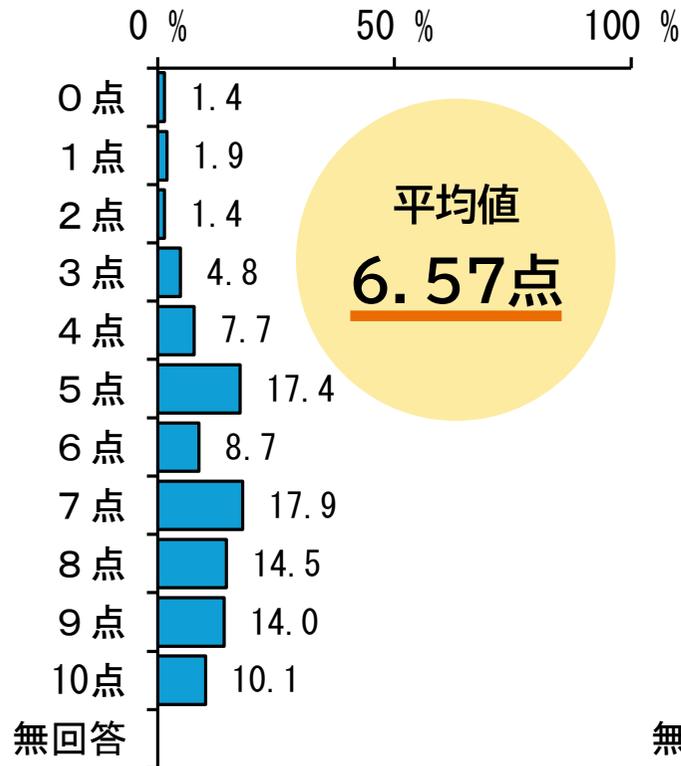


地域の生活満足度

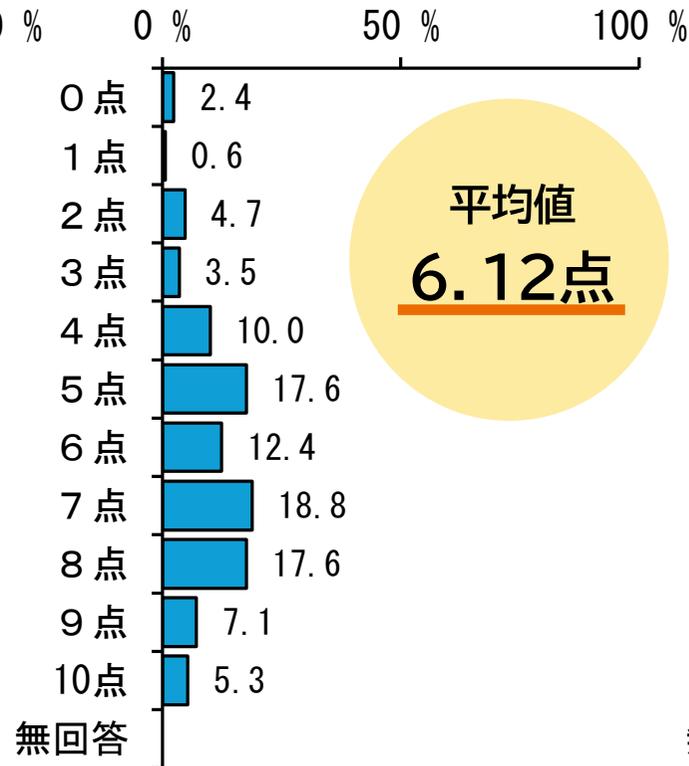


地域の暮らし満足度 = 年齢別 =

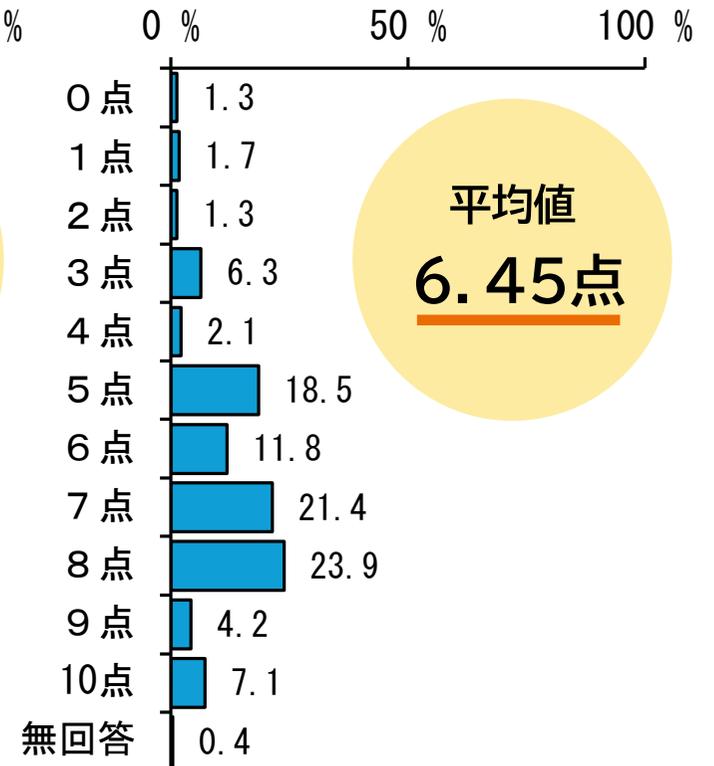
若年層 10代~30代
(n=207)



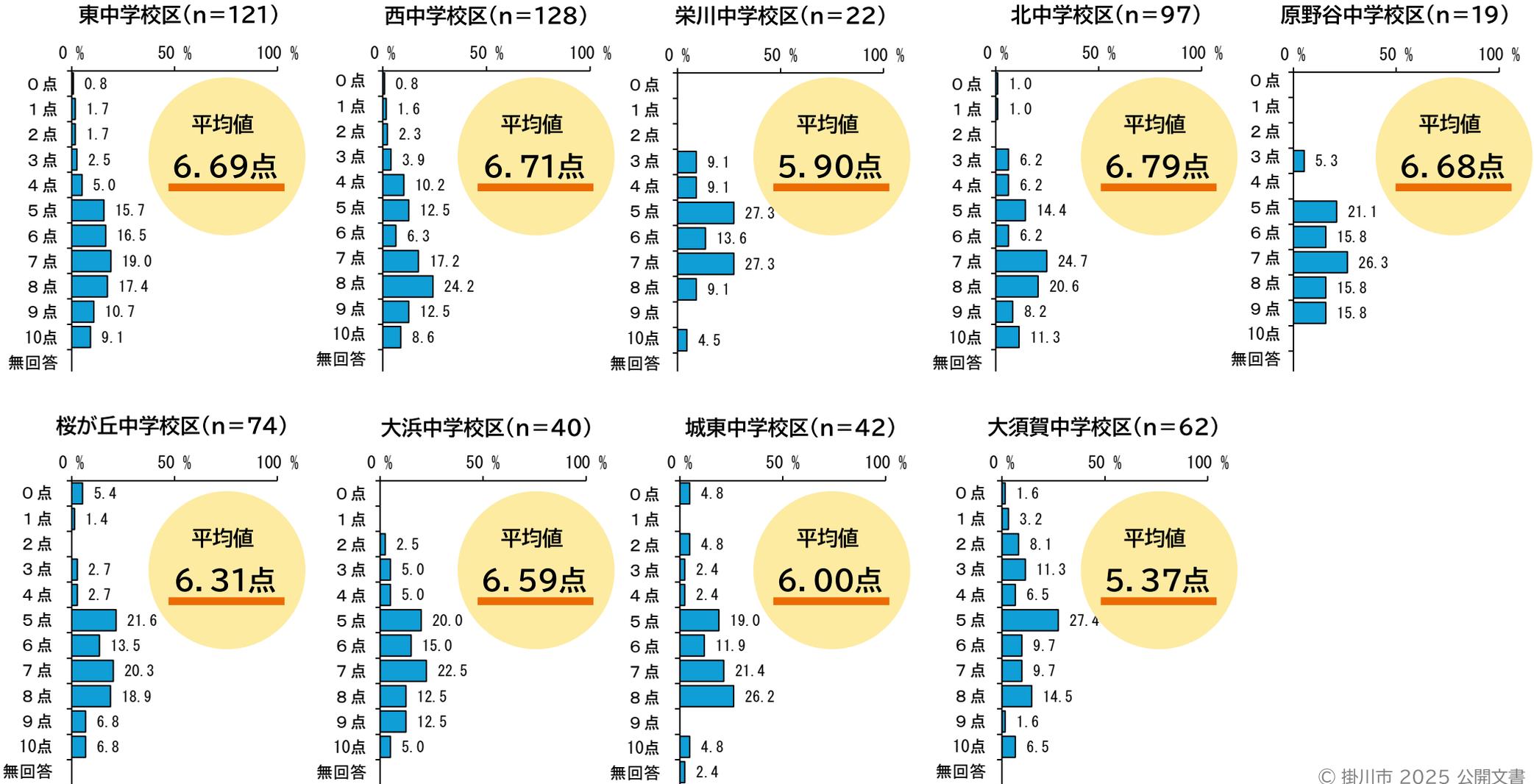
中年層 40代~50代
(n=170)



高年層 60代以上
(n=238)



地域の暮らし満足度 = 地域別 =



掛川市の強み・特長



1 自然景観や住宅環境の快適さが評価されており、次世代へ継承していく風土が根付いている

設問 No.	カテゴリー	設問内容	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない	無回答
42	文化・芸術	将来生まれてくる世代のために良い環境や文化を残したい	85.7	10.9	3.4	-
5	住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある	81	12	6.9	0.2
22	自然の恵み	掛川市では、身近に自然を感じることができる	78.6	15.3	6	0.2

2 心身共に健康だと思う市民が多い

設問 No.	カテゴリー	設問内容	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない	無回答
39	健康状態	私は、身体的に健康な状態である	70.9	14.6	14.4	-
40	健康状態	私は、精神的に健康な状態である	69.9	15.8	14.3	-

掛川市の弱み・課題



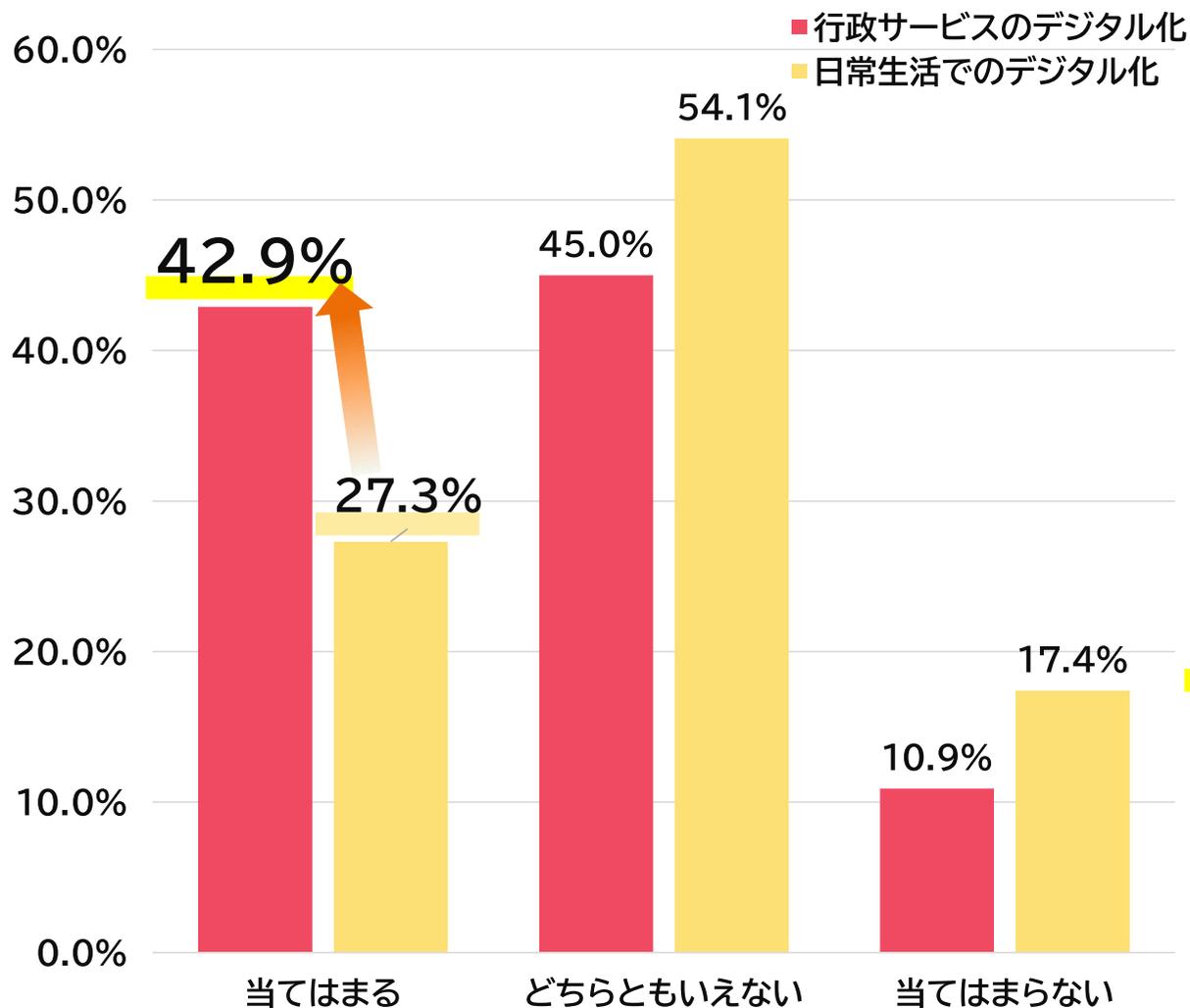
1 娯楽施設や交通の充実・雇用対策が暮らしやすさを向上するカギに

設問 No.	カテゴリー	設問内容	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまら ない	無回答
9	遊び・娯楽	掛川市には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	12.4	23.3	63.9	0.5
8	移動・交通	私の暮らしている町内では、公共交通機関で、好きなときに好きなところへ移動ができる	24.4	14.3	60.8	0.5
44	雇用・所得	掛川市では、やりたい仕事を見つけやすい	13.1	43.3	42.6	1.1

2 DEIに関する意識の向上が課題

設問 No.	カテゴリー	設問内容	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまら ない	無回答
36	多様性と寛容性	掛川市には、性別・国籍・障がいの有無に関係なく活躍しやすい雰囲気がある	22.0	56.1	21.5	0.5
37	多様性と寛容性	掛川市には、年齢関係なく活躍しやすい雰囲気がある	24.1	51.9	23.9	0.2

日常生活でのデジタル化と行政のデジタル化の状況



日常生活でのデジタルサービスは
まだ充実していないと感じる市民が多い。
一方、行政サービスのデジタル化が
進んでいる印象を持っている市民は
約1.5倍以上高い結果に。

今後の幸福度指標の活用について



デジタル庁が公開している
ダッシュボードに反映し
全国と比較して
掛川市の強み・課題を可視化

第3次掛川市総合計画の指標として

- ① 全体の幸福度
- ② 5年後の幸福度
- ③ 地域の暮らしの満足度

を設定し、進捗を評価していく

<レーダーチャートのイメージ>

